



日本スーパーマーケット協会

平成25年7月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	50,951,236 万円	100.0%	101.3%(102.8%)	49,330,541 万円	99.8%(101.0%)
食 料 品	42,503,186 万円	83.4%(82.8%)	102.0%(102.4%)	41,078,362 万円	100.0%(100.4%)
農 産	6,176,125 万円	12.1%(12.1%)	104.8%(101.1%)	6,009,360 万円	103.0%(99.1%)
水 産	4,242,227 万円	8.3%(8.0%)	101.9%(101.8%)	4,081,296 万円	99.7%(99.5%)
畜 産	4,671,401 万円	9.2%(9.4%)	103.5%(104.1%)	4,514,936 万円	101.2%(101.9%)
惣 菜	4,501,865 万円	8.8%(8.5%)	103.3%(103.4%)	4,334,012 万円	100.9%(101.0%)
日配食品	9,558,484 万円	18.8%(18.8%)	101.3%(102.6%)	9,220,954 万円	99.4%(100.6%)
加工食品	13,353,084 万円	26.2%(26.0%)	100.3%(102.2%)	12,917,804 万円	98.6%(100.3%)
生活関連	3,151,052 万円	6.2%(7.1%)	98.8%(104.9%)	3,075,488 万円	98.2%(103.7%)
衣 料 品	1,665,652 万円	3.3%(4.0%)	94.0%(104.0%)	1,641,369 万円	94.2%(103.4%)
そ の 他	3,631,346 万円	7.1%(6.1%)	99.6%(104.0%)	3,535,322 万円	100.5%(104.3%)

② 数 値

全店総売上高	50,951,236 万円	店 舗 数	4,426 店舗
総売場面積	8,561,606.2 m ²	総従業員数	225,858 人

店舗平均月商	11,511.8 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,776 円 (99.9%)
月間m ² 売上(前月)	6.0 万円 (5.9 万円)	平均店舗面積	1,934.4 m ²
月間坪売上(前月)	19.7 万円 (19.4 万円)	パート比率(前月)	77.0% (76.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 7月は、前年との曜日偏差で日曜日が一日減したため、既存店前年比を割った
- ・ 梅雨が例年より早く明け、気温上昇に伴い夏物商材が好調に推移したものの、中・下旬の戻り梅雨やゲリラ豪雨の影響で、夏物商材の動向が苦戦した
- ・ 天候不順の影響により野菜相場が上昇し、青果の売上は既存店前年比を超えた

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜は相場安の流れから一変、入荷減、相場高の影響で売上は上昇した
- ・ 相場高の影響で、カット野菜の動向が良かった
- ・ 果物では、梅雨明け前後での高温の影響で、すいかの動向が好調だった

○ 水産

- ・ 早期梅雨明けの影響で、涼味商材（刺身・海藻・たこ など）の動きが良かった
- ・ うなぎは、国産長焼中心に動向が良かった
- ・ 生かつお、生あじは、入荷量が増えて大幅に売上を伸ばした
- ・ 塩干では、しらす干が豊漁で相場が安く、売上作りに貢献した

○ 畜産

- ・ 焼肉中心に牛肉の動きが良かった。また、関連商材のタンや内臓肉の動きも良かった
- ・ 豚肉は、冷しゃぶ用と味付け焼肉用の動向が好調だった
- ・ 加工肉は、ウインナー・フランクの動きが良かった

○ 惣菜

- ・ 月間通して米飯の動きが良かった
- ・ 前半の気温上昇に伴い、やきとり、唐揚げの動向が高まったが、中・下旬では涼味麺の動向が鈍かった

○ 日配・加工食品

- ・梅雨明け後の猛暑で盛夏商材（アイス・冷麺・飲料・デザート など）が好調に推移した。中旬以降の戻り梅雨の影響で、ざるそば・冷やし中華・ところてん・冷やっこ豆腐などの動向が鈍った
- ・前半の気温上昇に伴い、涼味商材中心に、動向が良かった
- ・熱中症対策として、スポーツドリンクが好調に推移した。また、炭酸飲料の動向も良かった

○ 「土用の丑」について

- ・当日は、国産うなぎ長焼（1,580円～1,980円）を中心に動向が良く、国産の構成比が上昇した（国産構成比77%～90%）
- ・昨年と同日比較すると、昨年は水・木・金に対し、本年は土・日・月のため3日間で比較すると前年を上回る結果となった
- ・うなぎの価格高騰を受け、豚肉蒲焼きを展開し動向は良かった

○ 「サマーギフト」について

- ・上旬の気温上昇に伴い、ビール、ゼリー、素麺、そばなどの動向が良かった。また、生鮮品では、すいか、生肉ギフト、ハムギフトの動向も良かった
- ・カタログギフト、店頭ギフトの動きが良好

以上